

カルテラタン構想 大阪を元気にするプラン

[1] 背景

大阪市内の大学数が永年の施策により市外移転をした結果、優秀な人材が大阪に残らず地方流出という現象が続き、街や若い人材が本来蓄積すべき【知】が地元で蓄積されず空洞化していることが大阪が来した地盤沈下の根本的な構造的な要因であると考えられる。東京や名古屋、京都のように市内域に多くの大学を抱え卒業生が就職しそして結婚して又家庭を持ちそして子供が育ち同じように地元の大学に進学しそして就職するという【知の循環】が地域活性の源流になっていることが〈ひと・まち・建築〉の発展の原点であると考えている。つまり大学は新しいアイデアや研究の拠点であり、大学数の減少は地域のイノベーション創出の土壌が弱まり、経済成長の停滞や競争力の低下を招く要因であった。大阪には戦後松下、シャープ、三洋というような精密機械工業、繊維や薬業の一大基盤があったにも関わらず今はそれら産業の中核となる基盤さえ大阪から流出し面影さえない。

[2] 課題と構想に至る概念

[A] 大阪を元気ある若いまちに再構築する

学生や若い人々を都心に呼び込み緒方洪庵や福沢諭吉などゆかりの大阪の街の歴史や文化の魅力を肌で感じるにより街の活気や魅力を再確認してもらい将来の大阪の基盤づくりの原動力に活かしてもらうため、大阪の中心部に学生や若手研究者、一般の方々を呼び込み、元気ある若者のまちを再構築したいと考えた。

[B] 大阪都心の街『寺町』の特性とエリア設定

大阪は船場地域を中心とした商業の街であることアメムラ・心斎橋が若者のまちと言われるがそれだけではなく大阪城を中心とした上町台地には中世より神社仏閣が数多く建立され大阪で生活する人たちの文化的精神的基盤を醸成してきた。特に天王寺の由来である四天王寺をはじめ御堂筋の由来である北御堂や南御堂、つまり浄土真宗本願寺が原点とされ多くの関係末寺が建立され今に至っている。この谷町筋や上町筋の文化的歴史的エリアこそ大阪学問の原点であると位置付けた。

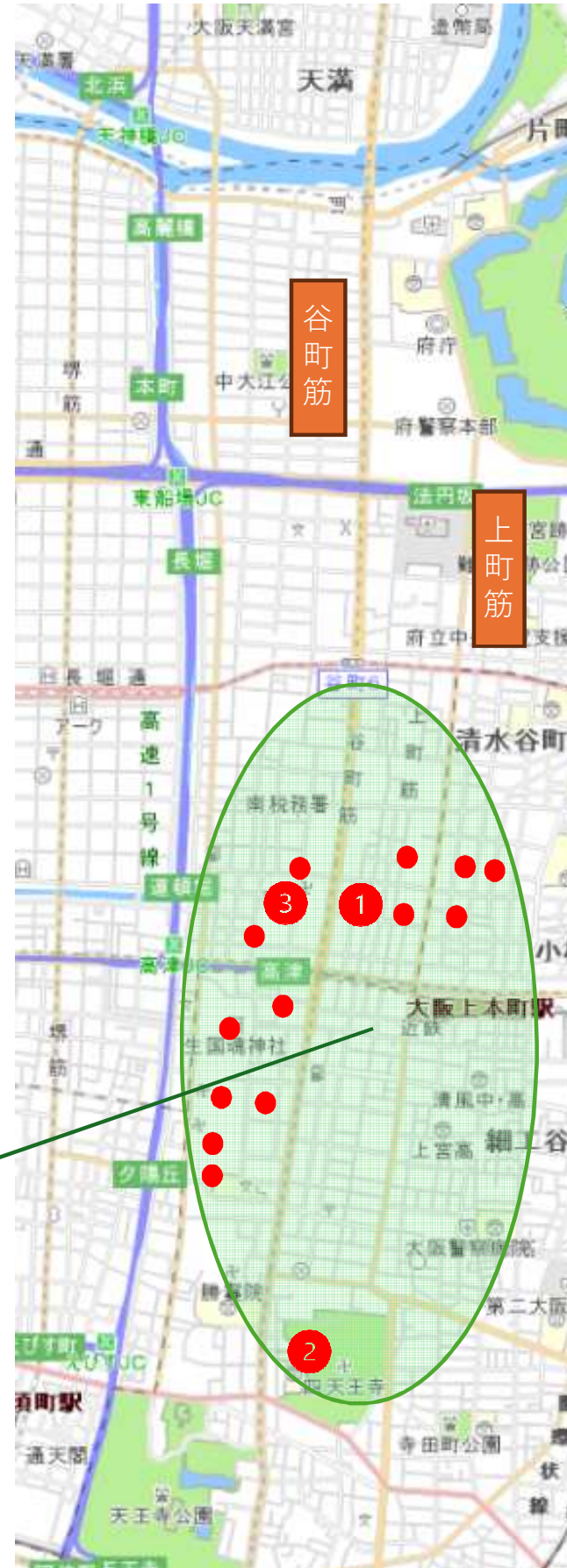
[C] 対策の方向性

現在、大阪では上記の諸課題を解決するため行政としても大学の統合や連携が促進され、資源の有効活用を図ることそして地域企業や行政と連携した産学連携の強化を図り高等教育の多様化と地域特化型の教育プログラムの推進を進めていることも進行しており、これら施策とも連携して学びの拠点を市内に幅広く構築できる方法を考案したい。

● 複数のお寺群

大阪の歴史文化を残す寺町エリア

① 谷町8丁目 妙光寺付近 谷町筋に面した寺社の佇まい



② 四天王寺 最も伝統のある大阪を代表する寺



③大雲寺、宝泉寺、妙寿寺等 寺町の佇まい



北御堂 御堂筋の名前の由来でもある大阪を代表する寺



[3] カルテラタン 基本構想

[1] 知の循環のために

【知】の地域内蓄積及び循環こそが日本のみならず世界においてもその地域特性となる歴史文化を育み発展させる要素であると考えバリの学生のまちを総称した名であるカルテラタンを模して今回、カルチャー・寺・タウン 要して『カルテラタン』構想を提案する。

[B] お寺を学びの場とする

先述のように大阪の文化歴史の一方の中心地である上町台地にある多くのお寺の**本堂や講堂、庫裏**などの施設をお借りして時限ごとの**大学のカリキュラムの講義**の場に充てる。これは歴史ある建物の中でその重みと歴史を感じながら人文系の歴史文化の学問を学ぶにはとても良い環境であると考えからである。

[C] カルテラタンの運営

1) 運営主体 この事業は将来の大阪の持続的発展を望む文化事業であり行政が主体となった**文化事業NPO法人**が事業母体となり実務は大阪府内既存大学が共同してカルテラタン事業本部を設置し事務局を創出し運営主体とする。資金の一部は寺の運営にも充てられ**文化財の保存**の可能性、持続性を高めることができる。

2) お寺ネットワークと運営

北、南御堂を中核とした**寺町サテライト教室ネットワーク**を構築し利用時間や利用可能人数などは大学の要望希望により年間の利用プログラムに沿って管理する。

3) カルチャーバスの運用

学生の交通手段として循環型カルチャーバスの運用も考えられる。

[2] カルテラタン構想の効果

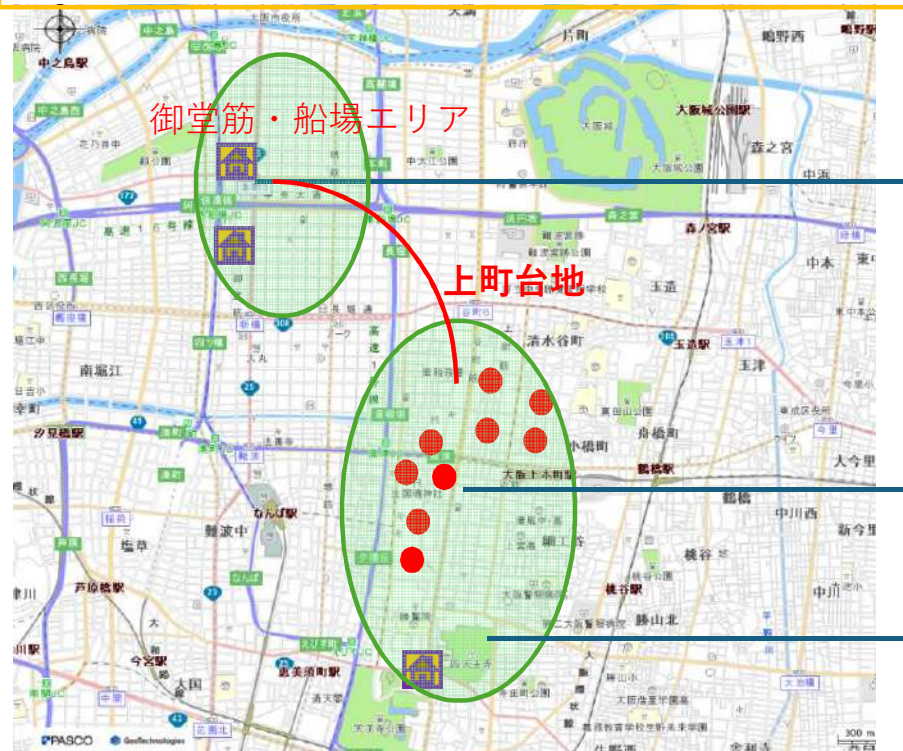
1) 若者文化の興隆

多くの若者があまり訪れない**上町の魅力**に接することにより若者文化がこの地域にも発展的に充実しより**持続可能なまちづくり**に貢献できる。

2) 大阪【知】の循環

若者が大阪の魅力に触れ大阪を住まう街として認識できれば大阪の大きな課題である【知】の分散から【知】の集積に繋がり、持続可能な街として存続し続けられる

カルテラタンネットワーク概念図 北、南御堂を中核とした寺町サテライト教室ネットワーク概念図



● 寺町の複数のお寺群

◆北御堂、南御堂
はカルテラタンネ
ットワークの中核
施設

◆寺町エリア
学びの場
カルテラタンサ
テライト教室群
エリア

◆四天王寺、一心寺
カルテラタン
寺町エリアの中心

お寺の講堂での授業風景のイメージ

寺町サテライト教室ネットワークを構築し、その一つのお寺での授業風景（イメージ）である。伝統や歴史に刻まれた建築空間での講義は普通の授業ではなく、先達の歴史や叡智を感じながら実のある授業を受けることができる。



テラカフェでの論壇風景（イメージ）

カルテラタンも所どころに寺風のデザインをあしらったお洒落なカフェを展開する。寺町エリアを訪れ、歴史や文化を肌で感じる授業の延長に学生同士で語り合える「テラカフェ」が点在し、多くの学生がここに集うことにより街を活気づける舞台となる。

